2025年度 春 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL05125A21）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
バングラデシュ	G126 サッカー	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

青年スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

国立スポーツ学院

3）任地（ ダッカ県サバール郡 ） JICA事務所の所在地（ ダッカ県北ダッカ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 2.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は、1986年に設立されたバングラデシュ国内の優秀なスポーツ人材を育成する機関。ダッカ本校のほか、チッタゴンやシレット、クルナ等にも拠点を構え、主に8～20歳の生徒に対し、様々な競技種目における専門的な指導を提供している。また、小・中・高に相当する一般教育も展開されている。ダッカには約1,000名の生徒が在籍中。全寮制であり、全生徒が敷地内にある寮で生活している。これまで、27名のJICA海外協力隊が派遣されているほか、外国人コーチも積極的に採用しており、2025年1月現在、アイルランド、韓国、インド人コーチが在籍中。
国立スポーツ学院HP

【要請概要】

1）要請理由・背景

バングラデシュにおいて、サッカーはクリケットに次ぐ国内でも人気スポーツの1つとして挙げられ、注目度が高い。配属先においてもサッカー選手の育成には力を入れており、地方拠点も含めると、現在男女合わせて約150名の生徒がサッカーコースに在籍している。また、これまでアイルランド、ポルトガルからコーチを招聘したほか、JICA海外協力隊が5名(現在派遣中の1名含む)派遣されており、いずれの活動も配属先関係者から高い評価を得ている。配属先は外国人コーチの受け入れを通じて、トレーニングを活性化させ、国際基準の選手育成を促進したいと考えていることから、再度協力隊の派遣要請がなされた。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と協力し、以下の活動を実施。
1. サッカーコースに所属する生徒に対する技術指導およびフィジカルトレーニングに関する助言。
2. 生徒や同僚に対する最新の練習方法や戦術の紹介および導入支援。
3. スポーツ指導を通じた礼儀やマナーの定着、人間性の向上。
4. トレーニングマニュアルの開発および定着促進。
5. 対外試合等の企画・立案や実施、地方拠点巡回指導等。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

サッカーフィールド3面、夜間照明、各種練習用具

4）配属先同僚及び活動対象者

サッカーコーチ7名 男性 指導経験 10～22年(AFCのA級ライセンス保有者あり)
サッカーコース選択生徒 男女約150名 13～19歳

5）活動使用言語

ベンガル語

6）生活使用言語

ベンガル語

7）選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（JFA・C級コーチライセンス）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）　備考：配属先からの要望のため

[経験]：（競技経験）5年以上　備考：専門的な指導を行うため
（指導経験）2年以上　備考：同僚への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候）　気温：（15～40℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

・住居は配属先敷地内にある寮となる予定。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.